

資料3 今回計画における原単位算出方法

(ℓ/人日)

原単位	前回計画	伸び率	H24～H28 収集実績平均	補正	今回計画
し尿	1.86	110.8%	2.06	—	2.06
浄化槽汚泥	1.33	103.0%	1.37	—	1.37

○し尿

- ・ 前回計画で採用した原単位（H14～H19収集実績平均）に比べ、H24～H28収集実績の平均原単位は、110.8%と増加している。
- ・ 一人当たりし尿排出量は、理論上は一定と考えられるが、普及が進む簡易水洗トイレの場合、メーカー資料によると150cc～500cc/回程度の洗浄水を使用するほか、簡易水洗トイレで使用できる温水洗浄便座も発売されており、濃度は薄まるものの、実際の収集量の増加に寄与していると想定される。
- ・ 環境省が実施した一般廃棄物処理実態調査によると、平成27年度の全国のし尿収集量は6,632,900kℓで、汲み取り人口は7,196,741人であるため、 $6,632,900\text{kℓ} \div 7,196,741\text{人} \div 365\text{日} \times 1,000\text{ℓ} = 2.53\text{ℓ/人日}$ であり、本市の実績は、全国平均より少ない状況となっている。
- ・ 前回計画と同様にし尿の原単位はH24～H28までの最新の収集実績の平均値2.06を採用原単位として設定する。

○浄化槽汚泥（農業集落排水を含む。）

- ・ 前回計画で採用した原単位（H14～H19収集実績を増加率で補正）に比べ、H24～H28収集実績の平均原単位は103.0%と増加している。
- ・ 世帯あたり人口の減少や、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に伴い、実際の収集量が経年的に増加していると想定される。
- ・ 環境省が実施した一般廃棄物処理実態調査によると、平成27年度の全国の浄化槽汚泥収集量は14,536,861kℓで、浄化槽人口（コミュニティプラント人口を含む）は26,308,956人であるため、 $14,536,861\text{kℓ} \div 26,308,956\text{人} \div 365\text{日} \times 1,000\text{ℓ} = 1.51\text{ℓ/人日}$ であり、本市の実績は、全国平均より少ない状況となっている。
- ・ 今回計画の浄化槽汚泥の原単位は、H24～H28までの最新の収集実績の平均値1.37を採用原単位として設定する。